

新宿区立牛込第三中学校 教育目標

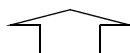
社会の変化に、自己を見失わず、自ら考え、主体的に判断して行動できる人の育成と、豊かな未来社会の創造を目指す。

- ① よく見、よく聞き、自分の考えをもつ。
- ② 物事をやり抜く強い意志をもつ。
- ③ 責任を果たし、みんなのために働く。
- ④ 美しいものを求め、豊かな心をもつ。

H29学校経営計画 グランドデザイン

「笑顔あふれる牛込第三中学校」を創る

—牛込三中の生徒・教職員・保護者・地域で良かった—



生徒	○「徳・知・体」のバランスのとれた成長 → 自尊感情・自己肯定感
	○目標の達成（理想の実現に向けた努力） → 主体的な自己実現・達成感
	○充実した学校生活 → 自己有用感・社会性の向上
教職員	○生徒の成長・目標の達成 → 高い職業観に基づく達成感・責任を果たす充実感
保護者	○生徒の成長・目標の達成 → 相互理解・厚い信頼感
地域	○支援による生徒の成長・地域への貢献 → 協働の喜び・充実感

めざす生徒像・教職員像・学校像

(1) 生徒像

- 「豊かな心＝徳」
- 自他の生命と人権を尊重できる生徒
 - 基本的生活習慣を身に付けた生徒(あいさつ、言葉遣い、身だしなみ)
 - 善悪の判断ができ、規範意識が高い生徒
 - 感謝の気持ちをもてる生徒
 - 地域への愛着と参画意識をもつ生徒

- 「確かな学力＝知」
- 基礎的・基本的な知識・技能を習得している生徒
 - 思考力・判断力・表現力等を身に付け、その力を使える生徒
 - 自分に自信をもち、目標の達成に向け努力できる生徒
 - 主体的に学習に取り組む生徒

- 「健やかな体＝体」
- すべての基盤として、たくましく生きるための体力がある生徒

(2) 教職員像

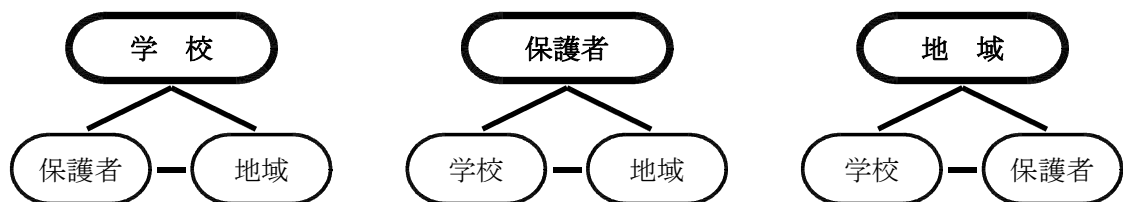
- 生徒一人一人を大切にでき、生徒の成長に喜びを感じる教職員
- 教育への高い意欲をもち、常に指導力向上に努める教職員
- 様々な人間関係を大切にし、お互いに高め合える（O J T）教職員
- 危機管理意識の高い教職員
- 組織の一員としての行動ができる教職員
- 服務に厳正な教職員

(3) 学校像

- 安全・安心・清潔で、生徒が楽しく登校できる学校
- 規律ある学校（自主自立ノーチャイムデー）
- 日々の地道な教育活動の積み重ねを重視できる学校
- 心を一つにして組織力を生かせる学校
- 保護者や地域と協働できる学校

めざす保護者・地域との関係

- 生徒の育成は、学校が主体となり、保護者・地域が大きな支えとなる場面が多いが、その場面によっては、その主体を保護者及び地域が中心となることもある。三者で総合的・統括的に生徒の育成を進めていく。



- 牛込第三中学校〔地域協働学校〕の教職員として、これまでの「保護者・地域と積み重ねてきた信頼」を全職員が十分に理解し、学校教育に生かしていく。
- 生徒の育成の方向として、「地域を支える中学生」を目指す。

学校経営の重点

(1) 「豊かな心」の育成

①生命尊重、人権尊重の教育の充実を図る。

②思いやりの心や社会性の育成を図る。

そのために、道徳教育を教育活動全体で横断的に行なうとともに、特別の教科「道徳」（道徳科）の指導内容の充実（考え、議論する道徳）を図る。

- 人権週間における指導の充実
- 道徳授業地区公開講座の充実（保護者・地域とともに生徒を育成する）
- 生活アンケートの実施・分析＝いじめの早期発見およびいじめ防止の強化
- 「牛込第三中学校いじめ防止基本計画」および「学校サポートチーム」の積極的活用
- 教育相談週間の充実
- 学校行事・特別活動の充実
- 体験（的な）学習の充実
- 奉仕（的な）活動の充実（あいさつ運動、地域貢献・地域連携 等）
- リーダーの育成（リーダーシップとメンバーシップ）
- 自治的活動（生徒会活動）の充実
- 「暴力根絶」「暴力行為ゼロ」の指導の徹底
- オリンピック・パラリンピック教育との連携

(2) 「確かな学力」の育成

育成すべき資質・能力を以下の3つの柱で整理し、各教科等そのものの文脈の中で身に付けていく力と教科横断的に身に付けていく力と相互に関連づけながら育成していく。

- 「何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得）」
- 「理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成）」
- 「どのように社会・世界とかがわり、より良い人生を送るか（学びを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）」

①基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る。

[朝] ○集中した朝読書の徹底

[授業中] ○チャイム始業

○授業における指導の充実（繰り返し学習の徹底、個への指導の充実）

○授業の基本形（例：あきたのそちから）の積極的な活用

○習熟度が十分でない生徒への対応（授業中の個への指導の充実、教材の工夫、複数教材の準備）

[放課後] ○放課後学習教室（学生ボランティアによる家庭教師型補充学習）の実施

[その他] ○国・都・区の学力調査の分析および活用

○ねらいを明確にした長期休業明けテストやコンテストの実施

○家庭学習の習慣化＝自学自習の意欲を促す課題、取り組める課題

○各種検定検定の推進

②思考力・判断力・表現力等の育成を図る。

[全教育活動] ○習得した基礎的な知識・技能を活用して、自ら考え、判断し、表現することを重視した授業展開の構築（生徒の思考力・判断力・表現力等を育成）

※「主体的・対話的で深い学び」の実現

○平成29年度末の学習到達度目標（生徒一人一人がどのような力を身に付けているのか）の明確化

[授業中] ○発問の工夫

○「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業改善

○話し合い活動の工夫

○発表の仕方指導と聞き方指導の充実

○問題解決場面の意図的・計画的な設定

③主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。

[全教育活動] ○生徒の主体的・積極的な取組（見通しと興味・関心）

○生徒が自らの学習活動を振り返り意味づけたり、獲得した知識・技能や育成された資質・能力を自覚したり、共有したりする

○実社会や実生活に関わる主題に関する学習の積極的な導入

○体験活動を充実させ、その成果の振り返りを次の学びにつなげる

○授業中等における、生徒一人ひとりのよさの積極的な評価

○自学自習の習慣づくりのための具体的な指導

(3)「健やかな体」の育成 ―心と身体のバランスを重視―

①体力の向上 ○基礎体力の向上（保健体育科の繰り返し学習の充実）

○体力調査の結果の活用

○部活動（運動部）の充実（勝利至上主義ではない）

○学校行事・健康教育の充実

○オリンピック・パラリンピック教育の充実

②心の充実 ○安全教育の推進

○学校保健委員会の充実

○食育の充実（家庭科、栄養士との連携）

○健康教育の充実

(4) 保護者・地域と連携した教育の充実【地域協働学校】

地域の教育力の活用を図るとともに、地域を支える中学生を育成する

―「地域は教材」「地域は教室」「地域は先生」「地域は家族」「地域は世界への入り口」―

○学校運営協議会の充実

○隣接企業との連携（キャリア教育の充実）

○学校評価の充実と活用

○開かれた学校づくりのさらなる推進

・保護者・地域住民の教育活動への参画（参画できる場面の計画的な設定）

○地域行事への参加―「牛込三中生の力」を地域で活用―

○ボランティア活動の充実